



萌木

9月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和4年9月12日発行

～自尊・立志・感動～

「前に進む気持ち」を持つ力

校長 山田 勝

新型コロナウイルスの「7波」といわれる感染拡大の中であった今年の夏休み。緊急事態宣言などの制限はなく、各人・各家庭の判断に感染対策がゆだねられた中での夏休みでした。旅行や帰省などでもどう判断し行動するか、また行動した結果をどう受け止めたか、それぞれが様々な経験をした中で、2学期の始業式に生徒が集まりました。

同じ「始業式」でも、1学期の始業式は進学・進級をして、目標を持ちやすい中で迎えます。3学期の始業式は年越し・正月を経て、気持ちが新鮮な中で迎えます。それに対し2学期の始業式は1か月以上の自分で生活をコントロールする、自律した生活から一転して、自分の苦手な分野を含め、決められたスケジュールの中での学習、生活を意識しながら迎えることになり、前向きな気持ちを持つことに、少なからず抵抗が働きます。その中で、自分の目標を改めて確認し、前に進む気持ちを強く持ち直すことが、大切な時期です。

そのことを踏まえ生徒に話した始業式の講話を一部紹介します。

《前略》

39日ぶりに、全校生徒が登校してきました。今日家を出るときの一歩が重かった人もいないのでしょうか。始業式を、久しぶりに仲間に会える、中学生のエネルギーの集合体に合流できる日だと楽みな面と、自分のペースだけで進められない、苦手なことにも取り組まなければならないという日々の始まりである少し憂鬱な面と、どちらの気持ちが大きい中で始業式を迎えたのでしょうか。

どちらの気持ちも持っていることが当たり前なのが2学期の始業式だと思います。自分で考え判断し行動してきた生活から、チャイムに合わせ学習し、換気や休憩もする。そんな生活に戻ることに息苦しさを感じない人はいないでしょう。ただその息苦しさの中でこそ、今の自分に足りないものは何かを、感じ身に付けることができることもあるのではないのでしょうか。

共に学ぶクラスメートと1学期の時に感じた絆を思い出してください。苦手なことや億劫になってしまうことにも、ともに頑張るクラスメートがいれば、自分も頑張ろうと思うきっかけになります。まだ、十分な絆を作れていないと思う人は2学期に意識して取り組みましょう。2学期もいろいろなことに挑戦し、多くのことを学んでください。そして、2学期でこのような成長をしたいとしっかり目標を持ちましょう。自分を大きく成長させる2学期。クラスメートとともに頑張っていきましょう。

今日、2学期の始業式。1学期に作ったクラスメートとの絆を、確かめる日でもあります。隣の人も、頑張ろうという気持ちで話を聞いてくれている、その気持ちを感じますか。安心して、自信をもってクラスメートとともに、2学期のスタートを切ってください。

自分が成長することで、周りのみんなも刺激を受け成長する。周りの成長を感じ、自分も自分の力を伸ばすことを意識しさらに成長する。

ともにいる仲間の成長は自分の成長に大きな力を与えてくれます。仲間とともにいるからこそできること、そのことから得られることを大切にしながら、自分の目標を目指して自分のペースで一歩を踏み出して進みましょう。